

沖縄タイムス教育賞 正賞2氏 奨励賞4氏紹介

主体的な学びに寄り添う

県内の教育分野で優れた研究、実践を続け、顕著な成果を上げている個人、団体を顕彰する第61回(2023年度)沖縄タイムス教育賞に、教育賞正賞2氏、今回から新設の教育奨励賞に4氏の計6氏が選ばれた。受賞者の活動や抱負

を紹介する。贈呈式は25日午後6時半から、那覇市久茂地のタイムスホールで開催する。一般参加も受け付ける。入場無料。祝賀会は開催しない。問い合わせは沖縄タイムス社事業局文化事業部、電話098(860)3588。

読書は生きる力を育む



正賞 手登根千津子さん(65) 桜野特別支援学校司書

1年間に1冊も本を借りない生徒の「不読率」の改善や1人当たりの平均貸出数の倍増などの効果を上げ、優秀実践校として文部科学大臣賞を受賞した。...

贈呈式25日タイムスホール

地域の中での体験重視



正賞 門林良和さん(43) 興南中学・高校社会科教諭

「沖縄は魅力的な地域教材がとてよもある場所。学校と地域をつなげて子どもたちの学びの場をつくるのが自分の使命。...

教材に新聞活用を継続



奨励賞 松田美奈子さん(53) 読谷村立読谷中教諭

「子どもたちの成長を直接見られるのがうれしい」と話す。NIEを活用した授業づくりやキャリア教育の視点から新聞を読み聞かせてく...

当真由紀子さん(47)

南城市立玉城中教諭

「子どもたちの成長を直接見られるのがうれしい」と話す。島尻教育研究所で2019年の1年間研修が転機となった。...

子の願い チームで支援



奨励賞 山本由紀子さん(47) 子に寄り添った支援の重要性を語る当真由紀子さん(47) 南城市立玉城中学校

学校のなかでは聞けない思いに触れることができた。振り返る。研修をきっかけに、琉球大学の大学院で学びを深...

奨励賞創設優れた実践続々

講評

沖縄タイムス教育賞は今年で61回を数えました。人生に例えると、選層を越えて新たな一歩を踏み出したところで、この教育賞もまた、選考委員の先生方からアドバイスを得て新たに「教育奨励賞」

上間正敦選考委員長

を創設しました。教育賞(正)ものが多く、選考委員会で議論一本の評価だけではなく、教育賞正賞の件数も増加し、教育賞奨励賞4件のいずれも個性に値する成果を期待したものでした。...

カラキ研究 生徒と成長



奨励賞 川満大輔さん(43) 北部農林高校教諭

「カラキの有効活用をチームに生徒たち探究活動を通じて」川満大輔さん(43) 北部農林高校教諭。大宜味村に自生するシナモン(カラキ)の活用を...

宮城通就さん(56)

刃土名高校教諭

「カラキの有効活用をチームに生徒たち探究活動を通じて」川満大輔さん(43) 北部農林高校教諭。大宜味村に自生するシナモン(カラキ)の活用を...

生徒自ら探求する授業



奨励賞 宮城通就さん(56) 生徒が主体的に考える授業を探究する宮城通就さん(56) 大宜味村立刃土名高校

「カラキの有効活用をチームに生徒たち探究活動を通じて」川満大輔さん(43) 北部農林高校教諭。大宜味村に自生するシナモン(カラキ)の活用を...

の課題に向き合う総合的な学習の時間「まなVIVA」や「興南探究プロジェクト」を推進し、生徒の成長に大きく貢献しました。...